



太平洋の日の出(鴨川市)

AIIC 粘菌の会 会報

第 21 号 令和 3 年
2021 年 1 月 5 日発行



旧年 12/6 小惑星「りゅうぐう」から
「**五手箱**」が届きました!!

謹賀新年

昨年はコロナに苦しんだ一年でした。コロナウィルスに感染は世界的に広がり、とても常識的な人智では対応できないようです。ワクチンを使い、生活スタイルを変えて予防に徹することが感染から身を守る基本と考えられています。ウィルスは人類と同じく自然が生み出したものです。共生の道を探りたいものです。不都合なものを撃滅することで自分の生存を安定しようとする考えは古く、自己中心的な考え方ですが、人類は未だにこの考えから進歩していません。何億年と月日を送り、粘菌はさまざまな他種と接してきて今を生きています。その実績から粘菌の持つ環境対策を学びたいと思います。

粘菌の会代表 加藤修一



旧年 12/5 粘菌学校 11名参加
テーマ「間違うやり方していませんか」
—有機栽培の落とし穴—
石井一行講師(土壌菌農法の専門家)
粘菌に個性があるように、
毎回、月のテーマは様々です。1時間

子どももおとなも楽しくなる本の紹介



「きれいで
ふしぎな 粘菌」

新井文彦 著
川上新一 監修
文一総合出版



「ねんきんのほん」
一片岡 連くんの観察ノート
リクロ舎

森の神秘と不思議、粘菌ワールドが広がります。
粘菌に関わる楽しさ、喜び、関わる人々の愛情が
伝わります。温かい気持ちが好奇心を育てます。

行事予定

1月9日(土) 12:30~13:30

粘菌学校 加藤修一講師

テーマ「自然環境と私たちの生き方」

13:40~15:00 定例会

学校・例会は会員以外どなたも OK です。

参加費は 500 円です。

コロナウィルス感染の状況により

変更もあります。

問い合わせ 090 7230 4847(佐藤)

080 5460 5775(中村)



旧年 12/21

加曾利貝塚(千葉市若葉区)

6名の会員が散策

春の粘菌観察会は ?

小春日和の下見です。

粘菌に親しむ人々が日本各地に広がることは、
とても嬉しいことですね。感動体験が私達の心を癒し
穏やかな 2021 年となりますよう。 文責 中村良子